

奥多摩わさびの新しい未来

わさびの生産が減っている中、奥多摩では収益に結びつく活気的な動きがあるんです。そこには若い世代が新しいアイデアやエネルギーをもたらしています。

また、都心からの観光客や海外の人々がわさびに注目し、わさびの育成やわさびを使った楽しみ方を極めていきます。多くの方がボランティアとしてわさびの育成に関わったり、また、それなりの対価を払って「わさび田体験」に参加してみたりと賑わいをみせています。

コロナ禍の今、日本中、さらには世界中の人が、いとも簡単にオンラインで各自のわさびへの理解や評価を提供し、意見交換も活発に行われています。教育への大きな可能性を秘めているんです。そして、奥多摩のわさびが、なぜ素晴らしいかを学ぶことができます。

生産の面で言えば、奥多摩では、他の生産地で行われているような大量生産の方法ではなく、わさびの生産の収益をあげられるはずで、奥多摩ブランドとして力強く、洗練されたマーケティングを開発する絶好のチャンス到来と言ったところでしょう。

観光を念頭に置くのであれば、一等地のわさび田の手入れをし、発展させることが鍵となります。とりわけ、観光客に便宜をはかり、容易にアクセスでき、安全にも配慮されたわさび田で休憩場所（東屋）があれば言うことはありません。

奥多摩の将来のために話し合いの場をさらに広げていきたいと思えます。

ガイド デイヴィッド・C. ヒューム
(訳:工藤 智子)

「来させえ奥多摩」について

平成18(2006)年4月に創刊号が季刊誌として発行されました。奥多摩名人・達人観光ガイドが中心となり、当初から登山・自然・歴史文化の事など、奥多摩にまつわる様々な記事でお客様や関係者から親しまれています。

また、青梅警察署山岳救助隊副隊長だった金

邦夫氏の山岳事故に関する事例なども掲載され、奥多摩の自然散策愛好家から登山上級者まで楽しむことができました。

今年で発行から17年を迎えましたが、文章のみならず、紙面を飾った木版画、イラスト、写真など、様々な形で多くの方々に支えられてまいりました。改めて、これまでご尽力頂いた皆様に謝意を申し上げます。

来させえ奥多摩 編集委員一同

観光協会事務局より

今年はツキノワグマの目撃情報が例年以上に多い年となっています。特に集落の近くでの目撃が多いのも一つの特徴です。幸い観光客への人身被害がないものの、BBQゴミの不法投棄など、野生動物を誘引してしまうような事例も発生しています。

奥多摩湖散策や日原鍾乳洞見学などの通常の観光でツキノワグマを気にする必要はありません。しかし登山などで入山する際には、クマ除けの鈴を装着するなど適切な予防策をすることが必要です。

主要な通行止め

- ・鳩ノ巣溪谷遊歩道(2023年1月まで)
- ・海沢 ネジレノ滝~大滝(復旧未定)
- ・氷川溪谷 観光荘下(2023年3月末まで)
- ・鷹ノ巣山 稲村岩尾根(復旧未定)
- ・高丸山の巻道(復旧未定)

次号発行予定：2023年1月15日

発行 一般社団法人 奥多摩観光協会
住所 〒198-0212 奥多摩町氷川210
電話 0428-83-2152 FAX 0428-83-2789
編集 名人・達人観光ガイドの会

来させえ奥多摩のバックナンバー
がカラーでご覧いただけます。



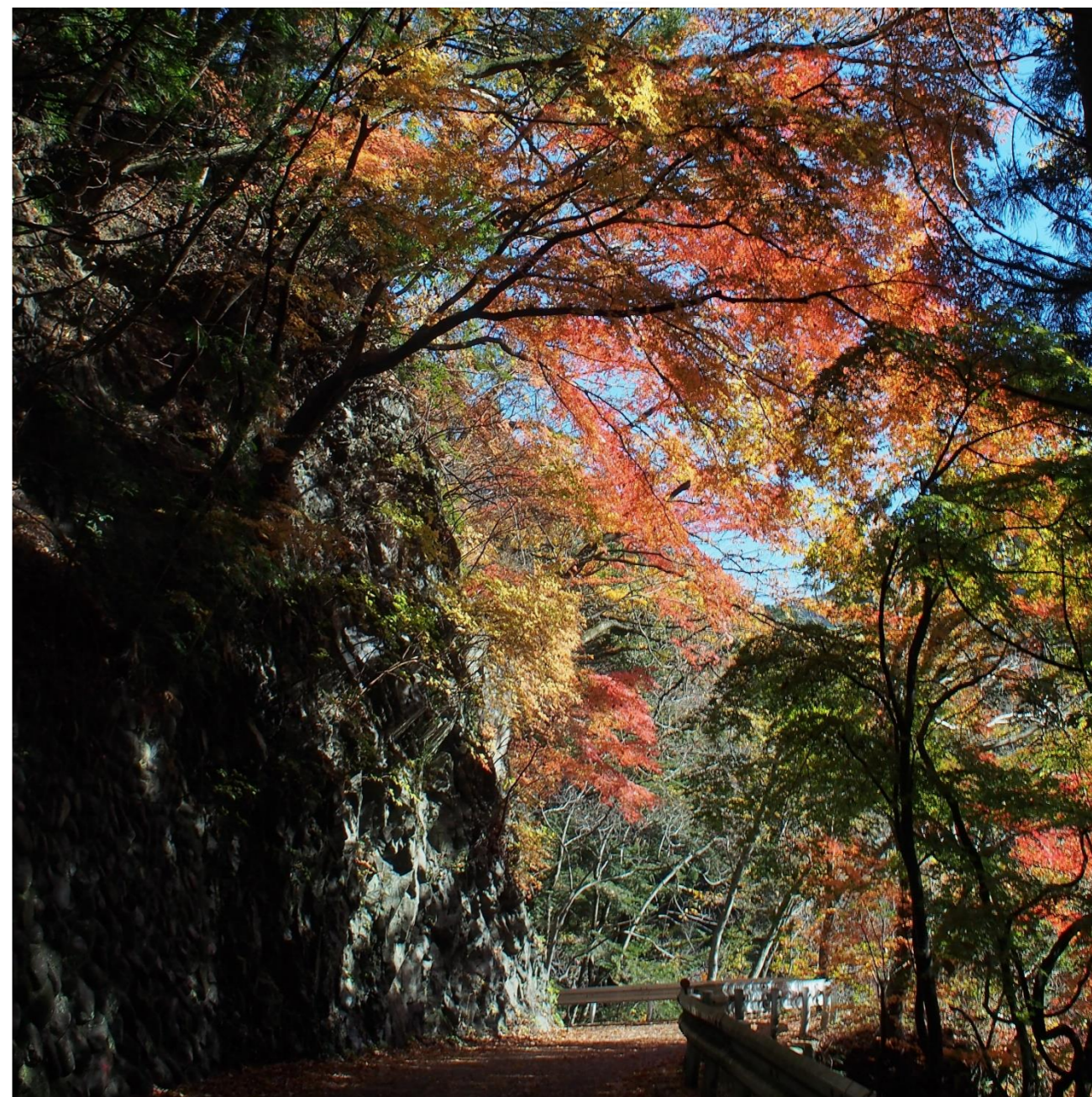
奥多摩

《第67号》

令和4(2022)年

10月15日 発行

一般社団法人 奥多摩観光協会



2016.11.22

奥多摩むかし道

奥多摩むかし道は、氷川(奥多摩駅周辺)から小河内(奥多摩湖)までの旧青梅街道を辿るハイキングコースです。石仏・廃線・吊り橋など見どころも多く、ハイキング初心者の方からサイクリングまで、幅広いお客様が楽しまれています。平成元(1989)年にハイキングコースとして整備されましたが、昨年、道標が全てリニューアルされ、より迷いにくく親しみやすいコースとなりました。

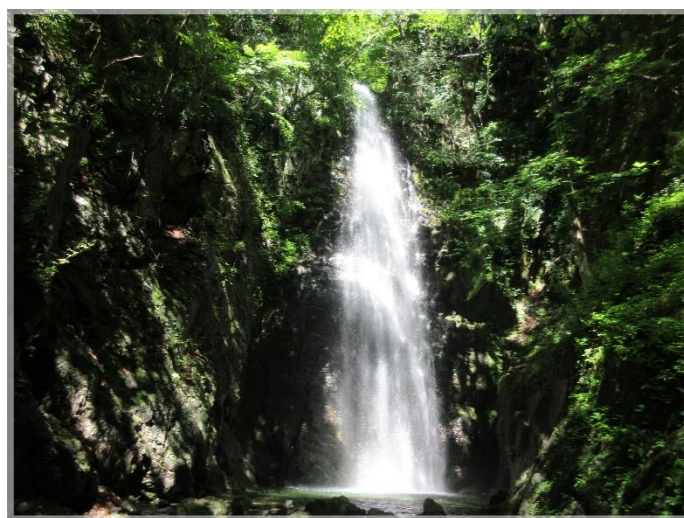
この奥多摩むかし道を最も満喫できるのが、11月の紅葉シーズンです。様々な木々が色付き、奥多摩むかし道は彩り豊かな色彩に覆われます。

～行って来たあよ～
8月25日(木) 百尋の滝

開催数日前、天気予報は雨。「中止もありかな。」と心配するも無事開催。バスで「川乗橋」下車。まずは舗装路歩き。1班リーダー小峰さん、メンバーの名前を全員覚えてくださり、名前を呼んで各々に声を掛け班全体が和やか。2班リーダー田中さんの年齢を感じさせない元気な声に後ろから励まされる。小さくて可愛い白花を付けた「マツカゼソウ」に秋の訪れを感じ、「コケ」に触れて「ふわふわ」感を楽しみゆったり歩き。

次は山道、ひっそり咲く「ヤマジノホトトギス」、数本片寄せる「ギンリョウソウ」、「桂」の甘じょっぱい香り。足元に注意しながら清流に掛かる数本の木橋を渡り昼食場所へ。昼食後、慎重に岩を登り、細い山道を歩き滝つぼにたどり着く。見上げると、遠くにも水しぶきを感じる程の水量と勢いの落差40mの「百尋の滝」に思わず歓声。「来て良かった。」と実感しました。帰りは予定時刻より遅れましたが、「川苔山」の名前の由来である岩に付いた「苔」を見るところという「おまけ」付きの楽しい一日でした。

友の会会員 木村 孝子



百尋ノ滝 2022.8.25



～行って来たあよ～
9月1日(木) 大菩薩嶺

大菩薩嶺の下見をしてきました。奥多摩観光協会のイベントはすべて下見をし、本番に臨んでいます。下見はとても大事な取り組みです。コースを確認する。危険箇所を把握する。コースタイムを確認する。トイレ、集合・休憩・解散場所を確認する等のことがあります。丹波天平の時は、下見で登山道の崩落箇所がわかり、全体のコースを変更しました。

今回は百名山の一つ大菩薩嶺です。登山の出発地点は上日川峠かみにっかわです。大菩薩嶺への最短のコースとなります。まずは奥多摩駅から車で峠まで行きます。途中の柳沢峠で休憩をとることにしました。安全登山のためには体調の管理が大切です。



大菩薩峠からの富士山 2022.8.3

上日川峠から歩き始めます。福ちゃん荘までは20分位です。有名な山小屋です。ここから雷岩までが急登です。唐松尾根です。気持ちを引き締めて歩きます。ずっと急な登りが続きます。ここは30分で休憩すると決めました。急登の終点は雷岩です。ここは展望が良く広場となります。昼食の場所と決めました。雷岩から大菩薩嶺までは尾根歩き、10分で到着です。展望はありません。下りは尾根を雷岩かんべ、神部岩かみべ、妙見ノ頭みょうけん、賽ノ河原、大菩薩峠、介山荘と歩き、この有名な山小屋で休憩です。ここからは尾根を外れ、出発地点の上日川峠まで歩きます。下りで危険な箇所はありません。これで一応下見は終了となります。

ガイド 箭内 忠義



季節のオススメのイベント



No. 27 11月29日(火)開催
本仁田山 1224.5 m

本仁田山(高指山)は、奥多摩の玄関口である奥多摩駅の背後に鉄兜のようにどっしりとした姿で屹立しています。奥多摩の山の特徴は、山頂部のなだらかな優しい姿とは対照的に、谷は奈落のような深さをもち、東京の山とは思えぬ険しさにあります。

本仁田山の安寺沢登山口から山頂に至る登降差875mの大休場尾根ルートは、奥多摩の三大急登の一つと紹介されています。他に奥多摩湖から三頭山山頂を目指すヌカザス尾根コース(標高差1,145m)、そして日原集落から日原川を渡り稲村尾根を登り詰め鷹ノ巣山山頂に至る稲村岩尾根コース(累積標高差1,265m)があります。

観光ガイドになって間もないころ、本仁田山は「奥多摩富士」と教えていただきました。西側の日原集落からこの山を見るときはどうかとアドバイスをいただきました。

今回は、健脚向きのゴンザス尾根ルートで山頂を目指します。下りは瘤高山こぶたか、大根の山の神から鳩ノ巣駅に下ります。春はコアジサイ、秋はセンブリの花が記憶に残るコースです。皆さんにこのきつい登りを十分楽しんでいただきたいと思います。

また、大根の山の神に鎮座する棚沢越えの峠道には、江戸時代中期の馬頭観音と思われる石祠が置かれています。明治32(1899)年、当時東京帝国大学の学生だった24歳の柳田国男は、峰集落に大尽福島文長を訪ね2泊しています。昭和47(1972)年に最後の住民が山を下り、400年の歴史の幕を閉じた峰集落跡に思いを寄せることも奥多摩を知ることにつながると思います。

ガイド 増澤 強

No. 29 12月7日(水)開催
山のふるさと村「落ち葉ふみ・クラフト体験」

奥多摩駅前から鴨沢西行バスに乗り、小河内神社バス停で下車すると、目前に奥多摩湖が広がると同時に麦山浮橋が見えて来ます。

湖面を渡る浮遊感がたまりません。そして、湖畔沿いの遊歩道を歩いて約50分で山のふるさと村に到着します。

山のふるさと村は、奥多摩町最南端の檜原村と山梨県境で、三頭山麓に位置する川野地区で、秩父多摩甲斐国立公園内の東京都自然公園施設です。

広い青空、美しい森と爽やかな風が吹き、野鳥の音が聞こえます。四季折々の自然、紅葉・落葉のざくざく感が楽しめます。

湖底に沈まなかった岫沢くまざわ・日指ひさしの地名が橋に残されています。最奥には氏神様の旧加茂神社があり、祭礼では鹿島踊りが行われていました。神社の少し手前には、大きな石碑が建てられた太子講(大工職人の講)があります。

また園内では、木工・陶芸・蕎麦打ち等、ものづくり体験やテント・ケビン・BBQサイト等、各種のキャンプ場施設があります。

参考資料「奥多摩山里歩き絵図」

ガイド 武田 和代



横スズ尾根からの本仁田山 2021.2.3